

2023年度

専門学校 東京国際ビジネスカレッジ

シラバス （講義概要）

国際経営学科

1 年生

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	経営学 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	前田 恭孝		
実務経験 教員紹介	銀行の本社で計画策定、目標設定、業績管理、商品・チャネル開発、マーケティングを、経営コンサルタントとして戦略策定、組織変革、マーケティング推進などを推進していました。		

講義概要
株式会社について、成立経緯、大規模化による独占・寡占行動、それに対応するコーポレート・ガバナンスなどを学ぶ。また、株式会社の出現に伴い産業界からの要請によって誕生した経営学について、成立経緯、初期の基礎理論(科学的管理法、人間関係論など)を学ぶ。
達成目標
現代の社会・経済の中心にある企業を説明する概念・用語・基礎理論を学び、企業の概観(どのような機関で、何をどう行っているかをなど)を知る。
学修成果
受講者の大半が働くことになる企業がどのような仕組みで成立・活動しているか、そこで働くとはどういうことかを知り、イメージをもって社会人になる準備を進めることができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	なし
	授業計画	株式会社とは：会社形態の変遷、株式会社の成立メカニズム		授業計画	企業活動の3要素：人・もの・金
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
2	事前学習	なし	10	事前学習	なし
	授業計画	巨大化した株式会社：経営・出資の分離、拡大する社会的責任		授業計画	チーム別発表：準備
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
3	事前学習	なし	11	事前学習	なし
	授業計画	経営学の誕生：20 世紀初頭の状況と新たな学問への要請		授業計画	チーム別発表：プレゼン
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
4	事前学習	なし	12	事前学習	なし
	授業計画	科学的管理法：テーラーの科学的実験と新たな工場作業		授業計画	コーポレートガバナンス(1)：目的と概要、株主総会
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
5	事前学習	なし	13	事前学習	なし
	授業計画	人間関係論：ホーソン実験と欲求・非公式集団の発見		授業計画	コーポレートガバナンス(2)：取締役会、代表取締役、強化策
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
6	事前学習	なし	14	事前学習	なし
	授業計画	独占・寡占行動(1)：特許、商標、紳士協定、談合による独占		授業計画	期末試験準備：前回までの授業の振り返り・総括
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	説明内容の復習
7	事前学習	なし	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	独占・寡占行動(2)：合併・買収、系列による独占		授業計画	期末試験：試験実施
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	なし		事前学習	
	授業計画	独占・寡占行動(3)：財閥、トラストによる独占		授業計画	
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (発表等) >：30%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	前田 恭孝		
実務経験 教員紹介	銀行の本社で計画策定、目標設定、業績管理、商品・チャネル開発、マーケティングを、経営コンサルタントとして戦略策定、組織変革、マーケティング推進などを推進していました。		

講義概要
経営学Ⅰで理解した企業像を元に、現代経営学の基礎となった初期の代表理論であるバーナード「近代管理論」、サイモン「意思決定/システム論」、マーチ「あいまい性の理論」を学ぶ。また、これらの理論に対するその後の研究による批判とこれを拡張・修正した理論を簡単に紹介する。
達成目標
企業の組織・活動を説明する基本概念(協働、構造、コミュニケーション、意思決定、権威、ルーティンなど)を理解し、これらを使って仕事(アルバイトなど身近な例)を説明できる。
学修成果
経営学の概念・用語・理論により仕事の意味・意義を理解し、上司の指示を理解、分からないことを質問・相談ができるようになるための土台ができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	なし
	授業計画	バーナードの理論(1): 理論の構造と組み立て		授業計画	チーム別発表: 準備
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
2	事前学習	なし	10	事前学習	なし
	授業計画	バーナードの理論(2): 人間モデル、協働、システム発想		授業計画	チーム別発表: プレゼン
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
3	事前学習	なし	11	事前学習	なし
	授業計画	バーナードの理論(3): 公式組織、誘因・貢献、情報体系		授業計画	マーチの理論(1): 理論の背景とゴミ箱モデル
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
4	事前学習	なし	12	事前学習	なし
	授業計画	サイモン理論の(1): 過去理論の批判、サイモン理論の位置		授業計画	マーチの理論(2) キューバのミサイル危機による実証
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
5	事前学習	なし	13	事前学習	なし
	授業計画	サイモンの理論(2): 組織活動の関数化		授業計画	新たな理論(2): 組織の維持・変化を説明する理論
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
6	事前学習	なし	14	事前学習	なし
	授業計画	サイモンの理論(3): 限定された合理性、組織内の葛藤		授業計画	期末試験準備: 前回までの授業の振り返り・総括
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	説明内容の復習
7	事前学習	なし	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	サイモンの理論(4): Organizations 以降の考え方		授業計画	期末試験: 試験実施
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	なし		事前学習	
	授業計画	新たな理論(1): 組織ルーティンを拡張した理論		授業計画	
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	

評価方法 出席状況: 30% 定期試験: 40% < (発表等) >: 30%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ論	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
一般的に、「ホスピタリティ」とは「おもてなし」や「心配り」など、サービスの延長線上にあるもの、もしくはサービスを補充するものとして混同・誤解されている場合が多い。本講義では、ホスピタリティ産業と呼ばれる業界の様々な事例を紹介しながら、サービスとホスピタリティの違いやホスピタリティの基本的な考え方を学ぶ。
達成目標
ホスピタリティの基本的な考え方を理解したうえで、ホスピタリティ産業にはどのような業種業態があるのか、そこで発揮されるべき「ホスピタリティ」はどんなことなのかを学び、普段の生活の中でも発揮できるようにする。
学修成果
日常生活で相手を思いやって行動することができるようになる。また、ホスピタリティ産業に興味を持ち、就職活動等に役立てることができるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス なぜ、「ホスピタリティ」を学ぶのか		授業計画	業界・職業研究②（バス・鉄道・航空）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	モノ消費からコト消費の時代へ		授業計画	業界・職業研究③（旅館・ホテル）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービスとは何か？		授業計画	業界・職業研究④（テーマパーク）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービス品質の特徴と品質基準		授業計画	業界・職業研究⑤（飲食・小売）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ホスピタリティの定義とサービスとの関係		授業計画	業界・職業研究⑥（冠婚葬祭事業）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	ホスピタリティが生まれやすい企業文化とは？		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト勉強
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	現状と今後の課題		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく		事前学習	
	授業計画	業界・職業研究①（旅行）		授業計画	
	事後学習	授業の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（授業態度）>：30%

教科書 著者名
タイトル 資料を随時配布

参考書 出版社
著者名
タイトル 特になし
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティ人材論	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
現在では、感情的知性が求められている。その中で、知識や情報をコントロールし、他社との信頼に基づいたコミュニケーションのあり方や人間だけが持つ他社への共感という心の動きに着目し、ホスピタリティ産業に従事する人材が持つべき社会性やコミュニケーション能力について考察する。
達成目標
「相手の立場に立って考え行動する」という顧客への共感や、顧客との信頼関係が不可欠になるので、顧客満足の最大化のために、授業で学んだ事を生かして、普段の生活から誠実さや責任感を身に付ける。
学修成果
ホスピタリティ人材として、相手の立場に哲多考えて行動できるようになる。また、普段の行動から先の見通しができるようになり、生産性の向上ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス なぜホスピタリティ人材論を学ぶのか？		授業計画	感情労働におけるコミュニケーションとその特質
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	感情労働の拡大		授業計画	感情労働と心の商品化
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	感情的知性「EI」 なぜ「EI」が重要なのか		授業計画	「接客」の特質 非接客活動と接客活動
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	事例研究①		授業計画	事例研究③
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	共感の3タイプ 認知的共感・情動的共感・共感的行動		授業計画	サービスパーソンとホスピタリストのちがい
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	前回までの復習
	授業計画	顧客に提供する3つの価値 経済的価値・機能的価値・感情的価値		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	前回までの復習
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	授業の復習
	授業計画	第3の場所（サードプレイス）		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	事例研究②			
	事後学習	授業の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（授業態度）>：30%

教科書 著者名
タイトル 資料を随時配布

参考書 出版社
著者名
タイトル 特になし
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	マーケティング I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	藤重 武三		
実務経験 教員紹介	・ノート PC 関連製品の企画、開発業務・インテリジェント複合機の企画、開発業務・産業機械向け組込みコンピュータ事業の事業マネージメント・経営管理・人事管理業務		

講義概要
・戦略立案の基本のフレームワークである「3C 分析」「SWOT 分析」「マイケル・ポーターの競争戦略」「STP 分析」について、多くの事例と共に講義する・毎回教材を配布し、教材には演習問題や空欄問題を設けて、一方通行でない双方の質疑応答を重視する
達成目標
・企業における戦略立案の全体像を理解する・各フレームワークの相関関係を理解する・各フレームワークの手法を理解して、基本的な戦略立案ができるようになる
学修成果
・演習/空欄問題の質疑応答により自身で考えられる力を養う・理論の応用を身近な具体例で考えることで理解を深める・戦略的な思考法により企業の課題解決に寄与できる

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	・授業ルールの説明・戦略とは？・企業の活動目的		授業計画	・ブルー・オーシャン戦略・プロセス・エコノミー・集中戦略
	事後学習	演習：自身の夢と戦略について		事後学習	ケーキ屋のプロセスエコノミー
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	・売上、原価、粗利等・3C 分析（顧客）・顧客ニーズとは？		授業計画	・集中戦略の事例・ニッチ戦略・集中戦略のリスク
	事後学習	演習：表面的ニーズ、本質的ニーズ		事後学習	集中戦略の手法の応用
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	・3C 分析（競合分析）・戦略キャンバス		授業計画	・STP 分析セグメンテーション、ターゲティング
	事後学習	演習：ホテル・寿司屋のニーズ		事後学習	セグメンテーションの事例
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	・3C 分析（自社）・VRIO 分析・SWOT 分析		授業計画	・ターゲティングの根拠・ターゲティングの事例研究
	事後学習	地球温暖化について		事後学習	ターゲティングの実例
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	前回の復習
	授業計画	・SWOT 分析（機会）・機会の各事例について		授業計画	3C 分析、SWOT 分析、競争戦略、STP 分析 総合
	事後学習	SWOT 分析からの戦略立案		事後学習	総合演習
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	・SWOT 分析の事例研究・競争戦略（低価格戦略）		授業計画	総復習
	事後学習	クロス分析からの戦略立案		事後学習	復習
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	自習
	授業計画	・低価格戦略のための安くする仕組み・低価格戦略のリスク		授業計画	試験
	事後学習	ケーキ屋の低価格戦略		事後学習	なし
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	・競争戦略（差別化戦略）・差別化戦略の事例			
	事後学習	八百屋の差別化戦略			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：80%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	藤重 武三		
実務経験 教員紹介	・ノート PC 関連製品の企画、開発業務・インテリジェント複合機の企画、開発業務・産業機械向け組込みコンピュータ事業の事業マネージメント・経営管理・人事管理業務		

講義概要
・戦略立案のフレームワークである 4P 分析、STP 分析及び競争戦略、協調戦略、資源戦略、複合戦略などの戦略理論について、多くの事例と共に講義をする・毎回教材を配布し、教材には演習問題や空欄問題を設けて、一方通行でない双方向の質疑応答を重視する
達成目標
・戦略立案の考え方を理解・各フレームワークの手法を理解して、基本的な戦略立案ができるようになる・各フレームワークや戦略の考え方を複数組み合わせられるようにする
学修成果
・演習/空欄問題の質疑応答により自身で考えられる力を養う・理論の応用を身近な具体例で考えることで理解を深める・戦略的な思考法により企業の課題解決に寄与できる

授業計画

1	事前学習	これまでの復習	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	・ポジショニングとは？・ポジショニングマップ		授業計画	・資源戦略とは？ ・アンゾフの成長ベクトル
	事後学習	演習		事後学習	演習
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	・4P 分析（製品）・製品の要件 ニーズ、差別化、ブランド		授業計画	・プロダクトライフサイクル理論 ・ポートフォリオマネージメント
	事後学習	演習		事後学習	演習
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	・4P 分析（価格）・価格の決め方 ・価格政策		授業計画	・イノベータ理論とキャズム ・実際の戦略運用
	事後学習	演習		事後学習	演習
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	・4P 分析（Place） ・Place の形態と選択		授業計画	・複合戦略とは？ ・キラーパスと好循環が戦略のキモ
	事後学習	演習		事後学習	演習
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	前回の復習
	授業計画	・4P 分析（プロモーション） ・EC プロモーション		授業計画	・PDCA を回す ・ヒューマンエラーとなぜなぜ分析
	事後学習	演習		事後学習	演習
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	競争戦略、STP 分析、4P 分析の事例研究		授業計画	総復習（後期の集中講義）
	事後学習	演習		事後学習	復習
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	なし
	授業計画	・これまでの復習 ・（集中講義）試験 1 回目		授業計画	後期集中講義の試験
	事後学習	演習		事後学習	講義の総括
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	・協調戦略とは？・ドメイン戦略とは？・事例研究			
	事後学習	演習			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：80%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	流通論 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要	
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。日本の流通のしくみ、小売業の形態、小売業経営の仕組み、卸売業のしくみ、物流のしくみなども学ぶ一方で、日本の小売業の現状に特化し、流通の中で最も身近な小売業の企業についての知識を深める。	
達成目標	
流通の基本を学ぶと同時に、日本特有の流通（国の流通施策、卸売や物流の現状、小売業の現状、小売業界や企業）に関する知識の獲得を目指す。	
学修成果	
流通の基礎や小売業の特性を学び、日本商工会議所主催 リテールマーケティング検定 3 級内の「I：小売業の類型」と同程度の知識を身に着けること。	

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	小売業について
	授業計画	オリエンテーション 流通の概要を理解		授業計画	卸売業について 卸売企業の役割・種別について
	事後学習	流通の基礎		事後学習	卸売業について
2	事前学習	流通の基礎	10	事前学習	卸売業について
	授業計画	流通機構の存在意義 流通経路について		授業計画	卸売業について グループワーク企業研究
	事後学習	様々な流通経路		事後学習	卸売業について
3	事前学習	様々な流通経路	11	事前学習	物流について
	授業計画	流通政策 インターネット社会と小売業について		授業計画	物流について 基本機能・役割について
	事後学習	流通政策		事後学習	物流について
4	事前学習	小売業とは	12	事前学習	物流について
	授業計画	小売業の分類について グループワーク発表準備		授業計画	物流について グループワーク小売/ 卸売の物流の研究
	事後学習	課題準備		事後学習	物流の基本
5	事前学習	課題準備	13	事前学習	物流について
	授業計画	小売業の分類について グループワーク発表準備		授業計画	物流について グループワーク小売/ 卸売の物流の研究発表
	事後学習	小売業について		事後学習	物流の基本
6	事前学習	小売業について	14	事前学習	試験勉強
	授業計画	小売業経営について チェーンストア経営について		授業計画	振り返り
	事後学習	小売業について		事後学習	試験勉強
7	事前学習	小売業について	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	小売業経営について マーチャンダイジングについて		授業計画	定期試験
	事後学習	マーチャンダイジング		事後学習	0
8	事前学習	小売業について			
	授業計画	小売業経営について 価格戦略（EDLP など）について			
	事後学習	価格について			

評価方法 出席状況：50% 定期試験：40% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名 小林 隆一
タイトル Visual 流通の基本
出版社 日本経済新聞出版社

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	流通論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要
流通論Ⅱでは流通論Ⅰの応用を学ぶ。流通の中でも特に小売業の業務に特化し、リテールマーケティングを学ぶ。商品や品ぞろえに関する「マーチャンダイジング」やマス・マーチャンダイジングとの違い等「マーケティング」を中心に基本的な知識の習得を目指す。
達成目標
流通の基礎の振り返りをしつつ、特に小売業に着目し、品ぞろえに関してや、接客、店舗経営のノウハウを「マーチャンダイジング」「マーケティング」の観点で学ぶ。
学修成果
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学び、「日本商工会議所主催 リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に付けることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	オリエンテーション マーチャンダイジングとは		授業計画	マーケティング 顧客満足経営と顧客維持政策
	事後学習	マーチャンダイジングの定義		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 商品計画、販売計画		授業計画	マーケティング 商圈設定と立地、出店の基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 仕入計画の基本、発注、物流の基本		授業計画	マーケティング インバウンドに対するプロモーション
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 価格設定の基本、利益構造		授業計画	マーケティング 売り場の形態と売り場作りの基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 在庫管理の基本と、販売管理の基本		授業計画	マーケティング 照明・光源・色彩の考え方
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング POS システムと活用方法		授業計画	マーケティング振り返り マスマーケティングとの違い
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	試験勉強
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	マーチャンダイジング振り返り マーチャンダイジングの流れや IT		授業計画	定期試験
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	0
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読		事前学習	
	授業計画	マーケティング マス・マーケティングとの違い		授業計画	
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	

評価方法 出席状況：40% 定期試験：50% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	簿記 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものです。大企業から中小企業、個人商店にいたるまで簿記を用いています。また簿記の資格は、ビジネス系の資格においては常に人気ナンバーワンとなっています。この講義では商業簿記の基本についてテキストを中心に講義を進めていきます。
達成目標
簿記の基本を理解し、会社における日常取引および決算の基本的な処理についての知識の習得を目標とします。また、全経簿記能力検定試験 3 級の合格を目標とします。
学修成果
企業における期中取引の基本仕訳、主要簿、補助簿の記入及び作成、決算手続きなど、簿記の基本処理が可能となります。また全経簿記能力検定 3 級に合格することができます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	ガイダンス 企業の簿記の意味と目的・種類について		授業計画	有価証券と有形固定資産の取得・売却の仕訳について
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
2	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	10	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	資産・負債・純資産・費用・収益と貸借対照表・損益計算書の作成方法		授業計画	株式の発行、各種税金、引出金の仕訳について
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
3	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	11	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	仕訳の基本、借方・貸方、勘定科目について		授業計画	決算整理仕訳(売上原価、減価償却費、貸倒引当金)について
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
4	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	12	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	総勘定元帳の勘定口座への転記、試算表の作成について		授業計画	決算整理仕訳(消耗品の処理、費用の見越し・繰延べ)、精算表の作成①
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
5	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	13	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 分法、仕入・売上の仕訳、掛取引・返品仕訳について		授業計画	精算表の作成(整理記入欄の記入、P/L・B/S 欄の記入) ②
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
6	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	14	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	現金と預金の仕訳、当座預金の仕訳、小切手の仕訳について		授業計画	全経簿記 3 級直前対策総まとめ、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
7	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	手形取引の仕訳(受取手形、支払手形、手形貸付金、手形借入金)		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認のための定期試験の実施
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	定期試験受験後の振り返り
8	事前学習	前回講義のプリントの読み返し		事前学習	定期試験受験後の振り返り
	授業計画	その他の債権債務(未収金・未払金、仮払金・仮受金等)の仕訳について		授業計画	
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% < (課題・小テスト) >：25%

教科書	著者名	TAC 株式会社またはネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	日商簿記 3 級合格テキストまたは全経簿記能力検定試験公式テキスト 3 級
	出版社	TAC 出版またはネットスクール出版
参考書	著者名	TAC 株式会社またはネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	日商簿記 3 級合格トレーニングまたは全経簿記能力検定試験公式問題集 3 級
	出版社	TAC 出版またはネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要
全経簿記能力検定試験 3 級レベルの商業簿記の復習をしながら、全経簿記能力検定試験 2 級レベルの商業簿記について講義します。特殊商品売買や手形、有価証券、固定資産などの少し複雑な期中取引や、株式や社債の発行、利益処分などの株式会社特有の処理方法、本支店会計の基本について講義します。
達成目標
個人企業及び法人企業の経理担当者または経理補助者として必要な商業簿記に関する知識と実務処理能力を有し、かつ全経簿記能力検定 2 級に合格することを目標とします。
学修成果
小規模な株式会社の経理担当者が必要な経理実務処理（期中の仕訳、勘定口座への転記及び主要簿、補助簿の作成、決算手続きの基本処理）が可能となります。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	特殊商品売買（未着品、委託販売、委託買付、割賦販売）の取引と仕訳		授業計画	剰余金の配当と損失の処理、欠損てん補の仕訳
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
2	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	10	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級手形取引復習、手形の更改、不渡り、為替手形の取引と仕訳		授業計画	3 級決算整理の復習、売上原価の計算、減価償却費、貸倒引当金の処理
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
3	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	11	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	荷為替手形の取引、3 級有価証券の復習と有価証券の評価替えの仕訳		授業計画	消耗品、費用収益の見越し繰延べ処理、税金の処理
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
4	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	12	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級有形固定資産の復習と有形固定資産の取得・売却、建設仮勘定の仕訳		授業計画	2 級決算整理事項総まとめと精算表の作成
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
5	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	13	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	有形固定資産の期中売却の仕訳、繰延資産の仕訳		授業計画	本支店会計と本支店合併財務諸表の作成
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
6	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	14	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級引当金復習、貸倒引当金、修繕引当金、商品保証引当金の仕訳		授業計画	全経簿記検定 2 級第 5 問対策
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
7	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	社債取引の仕訳		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	定期試験受験後の振り返り
8	事前学習	前回講義のプリントの読み返し		事前学習	
	授業計画	株式会社の資本構成と株式発行の仕訳		授業計画	
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題・小テスト）>：25%

教科書	著者名	ネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式テキスト 2 級商業簿記
	出版社	ネットスクール出版
参考書	著者名	ネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式問題集 2 級商業簿記
	出版社	ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーション研究 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼンテーションを学問として捉え、基礎知識理解及びアウトライン作成をいちばんの目的としている。目的や聴き手を意識した内容作成及び論理的な事例に基づくアウトライン作成を学習した上で、プレゼンテーションの心構えを理解し適切な仕組み作りができる学習内容となっている。
達成目標
自己紹介や謝罪、依頼など日常生活における様々な場面において、言葉遣いや構成などを体系的に理解した上で適切に表現できるようにする。また、プレゼンテーションの基礎知識を習得し、簡単な発表ができる。
学修成果
自己紹介や謝罪、依頼など日常生活における様々な場面で適切な表現ができる。目的や聴き手分析をした上で論理的な表現ができる。パワーポイントを活用した資料作成ができる。

授業計画

1	事前学習	プレゼンテーション用語確認	9	事前学習	ロジカルストーリーの作成
	授業計画	プレゼンテーションをはじめよう(目的と成功の法則)		授業計画	シナリオの構築⑤(多様なシナリオ演繹法と弁証法)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	目標達成計画表の作成	10	事前学習	演繹法と弁証法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける3P分析①(目的と目標分析)		授業計画	シナリオの構築⑥(多様なシナリオ帰納法と論理法)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	男女や国籍などの違い一覧作成	11	事前学習	帰納法と論理法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける3P分析②(聴き手分析と多様な価値観)		授業計画	デリバリー①(プレゼン流伝わる敬語と抑揚)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
4	事前学習	プレゼンのリスク一覧作成	12	事前学習	敬語練習文作成
	授業計画	プレゼンにおける3P分析③(場所と環境におけるリスク対策)		授業計画	デリバリー②(効果的な3つの用途別ボディランゲージ)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ドラマとプレゼンの違い探し	13	事前学習	国の違いによるジェスチャー調査
	授業計画	シナリオの構築①(三部構成の納得マジック)		授業計画	発表準備(アウトライン作成と表現法振り返り)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	発表準備
6	事前学習	三部構成文章作成①	14	事前学習	発表準備
	授業計画	シナリオの構築②(イントロダクションと第一印象)		授業計画	プレゼンテーション発表「2023 年すすめたい○○」
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	三部構成文章作成②	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	シナリオの構築③(ボディにおけるロジックと客観的データの重要性)		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	印象の良い挨拶			
	授業計画	シナリオの構築④(コンクルージョンと想いの構築)			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題) >：20%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 八幡紕芦史
タイトル パーフェクトプレゼンテーション
出版社 アクセス・ビジネス・コンサルティング会社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーション研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼン場面で「意図ある表現」ができる構成力を養うことを目的としている。そのため、前半はスピーチ発表を行い、表現力とメッセージの重要性の理解に努める。後半は社内プレゼンをテーマとし、会社側のニーズを踏まえた相手主体の発表内容作成ができる学習内容とする。
達成目標
メッセージを伝えるために必要な表現力（声量・アクセント）や構成的なスピーチができる。ビジネス場面で、相手のニーズに応じたプレゼン（スライド使用・ビジネス用語）ができる。
学修成果
スピーチ学習を通じた表現力向上ができる。ビジネス場面での提案ルール・資料作成法・論理的構成を理解し、会社での提案等ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	スピーチ表現方法確認	9	事前学習	学校情報をパンフで確認
	授業計画	スピーチ表現①声量やアクセント、スピード（映像から比較し表現理解）		授業計画	プレゼンテーション③発表準備（「学校説明」発表をグループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ映像を確認	10	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現②表現練習（複数スピーチ映像を真似て適切な表現を理解）		授業計画	プレゼンテーション④発表「学校説明」（発表、採点、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
3	事前学習	商品広告や CM を確認	11	事前学習	社内プレゼン情報収集
	授業計画	スピーチ表現③メッセージの重要性（広告や CM を事例に比較理解）		授業計画	プレゼンテーション⑤社内プレゼン概論（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	課題テーマの情報収集	12	事前学習	提案の構成内容を確認
	授業計画	スピーチ表現④メッセージ作成（複数テーマのメッセージ及び構成作成）		授業計画	プレゼンテーション⑥社内プレゼンスライド（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	発表テーマ選定	13	事前学習	テーマ情報収集
	授業計画	スピーチ表現⑤発表準備（テーマ選定、メッセージ、構成、表現練習）		授業計画	プレゼンテーション⑦発表準備（スライドやセリフ等グループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	発表準備	14	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現⑥スピーチコンテスト（発表、採点評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表「セブンイレブンの新サービス提案」
	事後学習	自己発表内容振り返り		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	前回のプレゼン講義内容確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション①プレゼン復習（概要及び専門用語）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	課題情報収集			
	授業計画	プレゼンテーション②メディアリサーチ（発表に必要な情報収集方法）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% <（ 課題 ）>：20%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 佐々木繁範
タイトル 思いが伝わる心が動くスピーチの教科書
出版社 ダイアモンド社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	国際関係論 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
これからのグローバル社会で活躍するためには、世界の政治・経済・社会問題にしっかりと目を向け、自分たちで解決策を提示して、実行していかなければならない。本講義では、国際的な諸問題の中から最低限身に付けておくべき知識を学び、それらの解決策を自分なりに提示できるようにしていく。
達成目標
国際的な問題の知識を学んだうえで、その中から「問題発見・問題分析・問題解決」を行えるようにしていく。また、課題提案力を身に付け、自分の意見を相手に伝えられるようにする。
学修成果
世界の政治・経済・社会問題を理解することができる。そこから、ビジネスに生かすための知識を身に付け、社会常識として世界のできごとを面接等で話すことができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	オリエンテーション・先進国と発展途上国		授業計画	資源・エネルギー問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	新興国の発展		授業計画	世界の環境問題①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	資本主義と社会主義		授業計画	世界の環境問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	人口爆発①		授業計画	世界の環境問題③
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	人口爆発②		授業計画	試験前対策①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験準備
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	食糧問題①		授業計画	試験前対策②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験準備
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	試験準備
	授業計画	食糧問題②		授業計画	定期試験
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験後の再考察
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	資源・エネルギー問題①			
	事後学習	授業内容をノートを見て復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（課題・小テスト）>：30%

教科書 著者名
タイトル 資料を随時配布

参考書 出版社
著者名
タイトル 特になし
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	国際関係論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
前期に学んだことを踏まえ、日本と世界を比較した際に、どのような違いがあるのかということを考察していく。また、日本がどのように世界と関わりを持ち、どのように発展をしてきたのかを、世界の国・地域との関係性を見ながら学んでいく。モデルケースも用いながら、グローバルな視点で物事を考えられるようにしていく。
達成目標
国際的な問題の知識を学んだうえで、その中から「問題発見・問題分析・問題解決」を行えるようにしていく。また、課題提案力を身に付け、自分の意見を相手に伝えられるようにする。
学修成果
世界の政治・経済・社会問題を理解することができる。そこから、ビジネスに生かすための知識を身に付け、社会常識として世界のできごとを面接等で話すことができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	オリエンテーション・日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える①		授業計画	日本企業と世界企業を比較し、それぞれのちがいを考察する
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える②		授業計画	世界が一つになるために、私たちが行うこと
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える③		授業計画	SDGs とは①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える①		授業計画	SDGs とは②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える②		授業計画	試験前対策①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験準備
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える③		授業計画	試験前対策②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験準備
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	試験準備
	授業計画	(モデルケース)日本企業が世界に与える働きを考察する①		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく		事前学習	
	授業計画	(モデルケース)日本企業が世界に与える働きを考察する②		授業計画	
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (レポート) >：30%

教科書 著者名
タイトル 資料を随時配布
出版社

参考書 著者名
タイトル 特になし
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	経済学 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	李 鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義ではミクロ経済学の基礎を学ぶ。市場経済の機能を体系的に理解することが本講義の最大の目的である。利己的な人間同士が行う経済活動を前提としている現代の経済環境において、それが社会の成員全体の利益にかなうことがあることを理解する。さらに市場経済が持つ限界についても考える。
達成目標
需要曲線・供給曲線とその背後にある経済主体の行動について学び、現実の様々な経済現象や政策の効果を分析できるようにすることを目標とする。
学修成果
モノの価格が決まる仕組みが理解でき、市場価格が決まる仕組みが説明できる。また、私たちの経済活動が経済と社会にどのような影響をもたらすのかが理解できる。

授業計画

1	事前学習	経済とは何かを考えてみる。	9	事前学習	規制緩和の例を調べてみる。
	授業計画	経済学とは何か、その考え方を理解し、説明できる。		授業計画	規制と規制緩和の違いを理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	分業とは何かを調べてみる。	10	事前学習	負の外部性とは何かを調べてみる。
	授業計画	分業のメリット・デメリットを理解し、説明できる。		授業計画	負の外部性とは何かを理解し、その特徴を説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	需要とは何かを調べてみる。	11	事前学習	正の外部性とは何かを調べてみる。
	授業計画	需要と需要量の違いが理解でき、価格と需要との関係を説明できる。		授業計画	正の外部性とは何かを理解し、その特徴を説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	供給とは何かを調べてみる。	12	事前学習	公共財とは何かを調べてみる。
	授業計画	供給と供給量の違いが理解でき、価格と供給との関係を説明できる。		授業計画	公共財とは何かを理解し、その特徴などを説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	価格弾力性を調べてみる。	13	事前学習	貧困の実態を調べてみる。
	授業計画	需要と供給の価格弾力性を理解し、説明できる。		授業計画	貧困・福祉・格差問題を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	労働市場とは何かを調べてみる。	14	事前学習	情報の非対称性とは何かを調べる。
	授業計画	労働市場の特徴と価格弾力性を理解し、説明できる。		授業計画	情報の非対称性とは何かを理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	独占とは何かを調べてみる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	完全競争と独占の違いを理解し、説明できる。		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	寡占とは何かを調べてみる。			
	授業計画	市場における独占や寡占状態を理解し、説明できる。			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：80%

教科書 著者名
タイトル 講師配布資料

参考書 著者名 ティモシー・テイラー
タイトル スタンフォード大学で一番人気の経済学入門（ミクロ編）
出版社 かんき出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	経済学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	李 鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本経済に関する最新の経済情報と基礎的な経済理論を踏まえながら、日本経済が直面している課題とそれに対処するためのマクロ経済政策を学ぶ。主な内容としては、①政府の役割と経済政策の基本的な考え方、②景気の変動、③財政政策と財政健全化への課題、④中央銀行の役割などを扱う。
達成目標
経済政策の基礎的な知識を習得し、経済学の基礎的な概念を使いこなして、経済政策上の論点を理解できる。また政府の経済政策について、自ら評価できるようになることが目標である。
学修成果
政府と中央銀行である日本銀行が行うマクロ経済政策（財政政策・金融政策）が理解でき、財政政策と金融政策の方法とその目的が説明できる。

授業計画

1	事前学習	貨幣の役割を調べてみる。	9	事前学習	政策金利とは何かを調べてみる。
	授業計画	貨幣の役割や世界の通貨制度について		授業計画	政策金利とは何か。政策金利と景気との関係について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	金融の種類を調べてみる。	10	事前学習	財政の役割を調べてみる。
	授業計画	直接金融と間接金融の仕組みと違いについて		授業計画	財政とは何か。財政の仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	銀行の役割を調べてみる。	11	事前学習	フィスカル・ポリシーを調べる。
	授業計画	銀行の三大業務と信用創造機能について		授業計画	フィスカル・ポリシーの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	日本銀行の役割を調べてみる。	12	事前学習	累進課税とは何かを調べてみる。
	授業計画	中央銀行とは何か。その役割や機能について		授業計画	ビルト・イン・スタビライザーの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	金融政策とは何かを調べてみる。	13	事前学習	ポリシー・ミックスを調べる。
	授業計画	中央銀行が行う金融政策の仕組みと役割について		授業計画	ポリシー・ミックスの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	インフレーションを調べる。	14	事前学習	基礎的財政支出を調べる。
	授業計画	通貨供給量と物価との関係について		授業計画	日本のプライマリーバランスの現状と課題について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	公開市場操作を調べる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	公開市場操作の仕組みと役割について		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	公定歩合とは何かを調べてみる。			
	授業計画	預金準備率操作と公定歩合操作について			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：80%

教科書 著者名
タイトル 講師配布資料
出版社

参考書 著者名 伊坂治康成
タイトル ハイレベル総合科目（改訂版）
出版社 アスク出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	外食産業論	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要
少子高齢化による市場規模の伸び悩み及びアフターコロナという状況における日本の外食産業の現状と将来について講義します。また、外食産業をカテゴリー別にとらえ、各カテゴリーの主要な企業、チェーン店の経営戦略と最新動向、今後の展望についてケーススタディを中心に学びます。
達成目標
外食産業全体の現状と今後の展望を総合的に理解し、業界のカテゴリーごとの特徴や具体的な企業、業態展開を体系的に整理、理解することを目指します。
学修成果
外食産業を展開する企業についてのケーススタディを行いながら、外食企業の代表的な経営戦略を学び、外食業界への就職希望者の就活の成功に繋がります。

授業計画

1	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食とは何か 外食・中食・内食の定義と概要		授業計画	カフェ業界ケーススタディ：ドトール、スターバックス、コメダ珈琲店等
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
2	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	日本の外食産業の歴史① すかいらーく、マクドナルド、吉野家等の誕生		授業計画	外食業界研究④ 麺、肉等の専門業態の概要と最新動向
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
3	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	日本の外食産業の歴史② バブル経済崩壊後の外食産業		授業計画	麺、肉等業態ケーススタディ：日高屋、物語コーポレーション等
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
4	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食業界研究① ファーストフード業界の概要と最新動向		授業計画	外食業界研究⑤ 回転寿司、居酒屋業界の概要と最新動向
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
5	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	ファーストフード業界ケーススタディ：マクドナルド、すき家等		授業計画	回転寿司、居酒屋業界ケーススタディ：スシロー、大手居酒屋チェーン等
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
6	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食業界研究② ファミリーレストラン業界の概要と最新動向		授業計画	最新の外食産業の動向と問題点、グローバル展開等について
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
7	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	ファミレス業界ケーススタディ：サイゼリヤ、すかいらーく HD 等		授業計画	定期試験実施
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	外食業界研究③ カフェ業界の概要と最新動向			
	事後学習	受講後のノート整理			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題）>：25%

教科書 著者名 講義において適宜資料プリントを配布する

タイトル

出版社

参考書 著者名 東洋経済新報社編
タイトル 「会社四季報」業界地図 2023 年版
出版社 東洋経済新報社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	英語 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、Form（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
基本の三時制である「現在形」、「過去形」、「未来形」のニュアンスについて理解すると共に、「形容詞」、「副詞」等の初級文法についても、会話の中で使用出来るようになる。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。「自分自身や家族の事」、また「趣味」等の日常的なトピックについて、自信を持って発話出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are (be 動詞の肯定文・否定文)		授業計画	be 動詞の過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し	10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are (be 動詞の疑問文)		授業計画	単純過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し	11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	現在進行形		授業計画	単純過去形の否定文と疑問文
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し	12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形		授業計画	I'm going to + 動詞の原形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し	13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の否定文		授業計画	未来を表す be + ing
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し	14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の疑問文		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し	15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	形容詞		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の授業内容について見直し			
	授業計画	副詞			
	事後学習	授業内容について復習			

評価方法 出席状況：0% 定期試験：90% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名 Raymond Murphy
タイトル マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
出版社 ケンブリッジ大学出版

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	英語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、Form（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
ビジネスにおける基本的なコミュニケーションである、自己紹介や自社の製品やサービスについて、また社内における自分自身の役割等について、簡単な英語で話す事が出来る。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。また授業で学習した内容について、軽度なビジネス場面で使用する事が出来る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit1: 1		授業計画	Unit8: 2
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し	10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit1: 2 Unit2: 1		授業計画	Review: Unit1-Unit2
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し	11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit2: 2 Unit3: 1		授業計画	Review: Unit3-Unit4
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し	12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit3: 2 Unit4: 1		授業計画	Review: Unit5-Unit6
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し	13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit4: 2 Unit5: 1		授業計画	Review: Unit7-Unit8
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し	14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit5: 2 Unit6: 1		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し	15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	Unit6: 2 Unit7: 1		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の授業内容について見直し		事前学習	なし
	授業計画	Unit7: 2 Unit8: 1		授業計画	なし
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし

評価方法 出席状況：0% 定期試験：90% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名
タイトル Businss Result - Starter
出版社 Oxford University Press

参考書 著者名
タイトル 出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ビジネス英語 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、Form（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
基本の三時制である「現在形」、「過去形」、「未来形」のニュアンスについて理解すると共に、「形容詞」、「副詞」等の初級文法についても、会話の中で使用出来るようになる。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。「自分自身や家族の事」、また「趣味」等の日常的なトピックについて、自信を持って発話出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are (be 動詞の肯定文・否定文)		授業計画	be 動詞の過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し	10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are (be 動詞の疑問文)		授業計画	単純過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し	11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	現在進行形		授業計画	単純過去形の否定文と疑問文
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し	12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形		授業計画	I'm going to + 動詞の原形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し	13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の否定文		授業計画	未来を表す be + ing
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し	14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の疑問文		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し	15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	形容詞		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の授業内容について見直し			
	授業計画	副詞			
	事後学習	授業内容について復習			

評価方法 出席状況：0% 定期試験：90% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名 Raymond Murphy
タイトル マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
出版社 ケンブリッジ大学出版

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	ビジネス英語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、Form（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
ビジネスにおける基本的なコミュニケーションである、自己紹介や自社の製品やサービスについて、また社内における自分自身の役割等について、簡単な英語で話す事が出来る。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。また授業で学習した内容について、軽度なビジネス場面で使用する事が出来る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit1: 1		授業計画	Unit8: 2
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し	10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit1: 2 Unit2: 1		授業計画	Review: Unit1-Unit2
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し	11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit2: 2 Unit3: 1		授業計画	Review: Unit3-Unit4
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し	12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit3: 2 Unit4: 1		授業計画	Review: Unit5-Unit6
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し	13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit4: 2 Unit5: 1		授業計画	Review: Unit7-Unit8
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し	14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit5: 2 Unit6: 1		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し	15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	Unit6: 2 Unit7: 1		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の授業内容について見直し		事前学習	なし
	授業計画	Unit7: 2 Unit8: 1		授業計画	なし
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし

評価方法 出席状況：0% 定期試験：90% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名
タイトル Businss Result - Starter
出版社 Oxford University Press

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	外国語演習 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
日本語を第二外国語として学ぶ者向けの講義である。専門学校卒業後の社会に出てから必要となる実践的な日本語を修得し、場面に合わせ使用できるように、動画や新聞記事などを用い、インプット及びアウトプットを行っていく。アウトプットには日本語検定に合格できるよう練習問題も行う。
達成目標
就職活動における E メール作成、送付文書作成、電話応対ができるようになること。練習問題や新聞雑誌などビジネス関連語彙の習得及び、適切な使用ができるようになる。
学修成果
日本語検定問題を解くことで、語彙力、表現力が向上することが期待できる。その結果、J-test（実用日本語検定）の 600 点合格を目指す。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	配布練習問題を解く
	授業計画	オリエンテーション 本講義の目的・目標／実力チェック		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（読解②）解説
	事後学習	配布資料の復習		事後学習	間違えたところの復習
2	事前学習	配布練習問題を解く	10	事前学習	配布練習問題を解く
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（文法①）解説		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（聴解②）解説
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	間違えたところの復習
3	事前学習	配布練習問題を解く	11	事前学習	配布練習問題を解く
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（読解①）解説		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（短文作成②）
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	間違えたところの復習
4	事前学習	配布練習問題を解く	12	事前学習	今までの復習
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（聴解①）解説		授業計画	模擬テスト②
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	模擬テストの自己採点
5	事前学習	配布練習問題を解く	13	事前学習	模擬テストの間違ったところを確認
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（短文作成①）		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 模擬テスト②解説
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	模擬テストの間違ったところを復習
6	事前学習	今までの復習	14	事前学習	今までの復習
	授業計画	模擬テスト①		授業計画	総復習
	事後学習	模擬テストの自己採点		事後学習	復習
7	事前学習	模擬テストの間違ったところを確認	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 模擬テスト①解説		授業計画	期末試験
	事後学習	模擬テストの間違ったところを復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布練習問題を解く		事前学習	
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（文法②）解説		授業計画	
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（課題）>：30%

教科書 著者名 特になし

タイトル
出版社

参考書 著者名 J. TEST 実用日本語検定 問題集[D-E レベル] 2021 年
タイトル 語文研究社
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
前期に引き続き、日本語を第二外国語として学ぶ者向けの講義である。社会に出てから必要となる実践的な日本語を修得し、場面に合わせ使用できるように、動画や新聞記事などを用い、インプット及びアウトプットを行っていく。アウトプットには日本語検定に合格できるよう練習問題も行う。
達成目標
あらゆる業種・職種において必須であるビジネスマナー、仕事上のルールなどを再確認し、敬語・接遇用語・ビジネス用語など実社会の実務で使用する日本語が使えるようになる。
学修成果
生教材を使用することで、語彙力、表現力が向上することが期待できる。また、J-test（実用日本語検定）の練習問題を行うことで、750 点合格を目指す。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	プレゼン原稿作成準備
	授業計画	ビジネス動画を視聴し、内容理解 練習問題（文法③）		授業計画	プレゼン準備②グループ毎
	事後学習	講義内容を復習しておく		事後学習	プレゼン準備
2	事前学習	配布練習問題を解く	10	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネス動画を視聴し、内容理解 練習問題（文法③）解説		授業計画	プレゼン発表
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	自グループの反省
3	事前学習	配布練習問題（読解）を解く	11	事前学習	動画の復習
	授業計画	ビジネス動画を視聴し、内容理解 練習問題（読解③）解説		授業計画	ビジネス動画の視聴、内容理解 本文要約、プレゼン準備①グループ毎
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	プレゼン原稿作成
4	事前学習	復習	12	事前学習	プレゼン原稿作成準備
	授業計画	ビジネス動画を視聴し、内容理解 練習問題（聴解③）&解説		授業計画	プレゼン準備②グループ毎
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	プレゼン準備
5	事前学習	配布練習問題（短文作成）を解く	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネス動画を視聴し、内容理解 練習問題（短文作成③）&解説		授業計画	プレゼン発表
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	自グループの反省
6	事前学習	今までの復習	14	事前学習	今までの復習
	授業計画	模擬テスト③		授業計画	総復習
	事後学習	模擬テストの自己採点		事後学習	復習
7	事前学習	模擬テストの間違ったところを確認	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	ビジネス動画を視聴し、内容理解 模擬テスト③解説		授業計画	期末試験
	事後学習	模擬テストの間違ったところを復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	動画の復習		事前学習	
	授業計画	ビジネス動画の視聴、内容理解 本文要約、プレゼン準備①グループ毎		授業計画	
	事後学習	プレゼン原稿作成		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（ 課題 ）>：30%

教科書 著者名 なし

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

J. TEST 実用日本語検定 問題集[A-C レベル] 2021 年
語文研究社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナー	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	井上 由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 3 9 年 イメージコンサルタント歴 17 年 話し方指導 17 年 ビジネスマナー講師歴 12 年		

講義概要
ビジネスシーンでの身だしなみや、最低限守るべきマナー・ルールを学ぶ。学生と社会人の違いを意識し、日本社会で信頼され活躍出来る人材育成を行う。また多国籍集団の中で、良好な人間関係を築くため、プロジェクトチームを編成し切磋琢磨できる環境を整え、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来る。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話対応の基本知識を理解し実践する。
学修成果
ビジネスマナーの基礎を学習することで、相手に対して敬意を表す様々な方法を身につけ実践できるようになる。目上の相手に対して失礼のない態度をとれるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	敬語置き換え一覧表印刷
	授業計画	講義ガイダンス チーム編成 チームごとに自己紹介しチーム名を相談		授業計画	ビジネス会話の基本 敬語の種類と動詞の置き換え
	事後学習	チーム名発表準備		事後学習	基本動詞の尊敬語と謙譲語を覚える
2	事前学習	授業資料用ファイルを準備する	10	事前学習	尊敬語と謙譲語の小テスト
	授業計画	朝礼の仕方 チーム名発表 学生と社会人の違いを 5 つの観点で比較		授業計画	丁寧語と美化語 内と外 間違いやすい敬語
	事後学習	3 ヶ月後の在りたい姿を言語化する		事後学習	敬語置き換え一覧書写し
3	事前学習	朝礼発表の話題を決める	11	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任 第一印象の重要性 メラビアン法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションツールの使い分けと優先順位
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	フォームを使って敬語会話の報告
4	事前学習	身支度行動を言語化する	12	事前学習	敬語小テストの準備
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い スーツの正しい着方 準備と手入れ方法		授業計画	敬語間違い探し 小テスト及び解説
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	小テスト間違い箇所の報告
5	事前学習	姿勢のいい人の特徴を観察する	13	事前学習	興味のある日本企業 HP を検索
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀の仕方 入退出動作の基本		授業計画	電話対応① 電話のかけ方マナー 電話メモの取り方
	事後学習	1 日 3 回各 1 分間の壁立ち姿勢確認		事後学習	アポ電話の台詞を書く
6	事前学習	身近な人の役職を調べる	14	事前学習	電話対応会話資料を印刷する
	授業計画	日本企業におけるタテ組織・ヨコ組織 人間関係構築の基本		授業計画	電話対応② 電話の取り次ぎ 状況別対応シミュレーション
	事後学習	フォームを使って役職名小テスト		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	これまでの配布資料整備	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	ビジネスシーン別挨拶の実習 オンライン画面での身だしなみと映り方		授業計画	期末試験
	事後学習	近所の方への挨拶 10 回		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	他国出身の友達を 3 人紹介する準備			
	授業計画	指示の受け方 報告・連絡・相談 6 W4H			
	事後学習	多国籍の友達紹介 WS を仕上げる			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% < (課題) >：30%

教科書 著者名
タイトル 教科書は指定せず、毎回プリントを配布
出版社
参考書 著者名
タイトル 複数の参考書や Web サイトより適宜引用
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	情報処理	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどを実習による習得します。 講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 時間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）※希望者は MOS Word を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Word の基本操作を習得し、ビジネス文書やチラシなどの書類を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」 コンピュータのしくみ、入力方法		授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	0		事後学習	操作の復習
2	事前学習	ローマ字の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語入力」 ローマ字による日本語入力方法		授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	ローマ字の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法		授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定 1」フォント種、サイズ等の設定、文字揃えの設定		授業計画	「表の作成 1」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定 2」フォントの色、インデント、あいさつ文		授業計画	「表の作成 2」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	テストに向けての総復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	定期試験
	事後学習	テストの見直し		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習		事前学習	
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定		授業計画	
	事後学習	操作の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書 著者名 FOM 出版
タイトル Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
出版社 FOM 出版
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	情報処理	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。 講義内容は MOS Excel 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度）※通年 Microsoft Excel の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）希望者は MOS Excel を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Excel の基本操作を習得し、データ集計や分析を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

16	事前学習	前回の操作の復習	24	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）		授業計画	「視覚表現」 スパークライン、条件付き書式
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
17	事前学習	前回の操作の復習	25	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF		授業計画	「データ保護」セルのロック、シート保護、ファイル保存
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
18	事前学習	前回の操作の復習	26	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RIGHT・MID		授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
19	事前学習	前回の操作の復習	27	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「並べ替え・フィルタ」データの並べ替え、フィルタ（絞込み）操作		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
20	事前学習	前回の操作の復習	28	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
21	事前学習	前回の操作の復習	29	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「入力規則」 データの入力規則の操作		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
22	事前学習	前回の操作の復習	30	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「グラフの作成」棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフの作成		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験の見直し
23	事前学習	前回の操作の復習		事前学習	
	授業計画	「グラフの編集」 グラフの詳細設定		授業計画	
	事後学習	操作の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書 著者名 FOM 出版
タイトル Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
出版社 FOM 出版

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	MOS 検定対策	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
MOS 検定受験を念頭に、Microsoft Word2016 および Excel2016 の操作を中心に操作を学びます。 また、試験対策として模擬試験をはじめとする問題演習なども並行して進めます。 前期に引き続き、日本語入力練習については毎回実施します。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） MOS Word2016 および MOS Excel2016 に対応する操作の習得。
学修成果
Microsoft Word2016 の操作を、MOS 検定一般レベルの基準を満たす範囲で学習します。 また、Excel2016 の基本操作も習得します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	なし
	授業計画	MOS ガイダンス 試験概要、模擬試験の確認、学習方法		授業計画	「Excel の基礎」 Excel の画面説明、新規作成・保存方法
	事後学習	なし		事後学習	ローマ字の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ヘッダーとフッター」ヘッダー、フッターの設定、ページ番号		授業計画	「セルの扱い」セルの基本操作、オートフィルによるコピー
	事後学習	操作の復習		事後学習	ローマ字の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「画像（写真・イラスト）」 画像の挿入・編集		授業計画	「四則演算」セル参照による演算、絶対参照・相対参照
	事後学習	操作の復習		事後学習	入力練習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「図形」図形の追加・編集、テキストボックスの追加		授業計画	「四則演算」 セル参照による演算、複合参照
	事後学習	操作の復習		事後学習	入力練習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「スマートアート」 スマートアートの挿入、編集		授業計画	「表の作成・画面操作」 罫線の設定、塗りつぶし、セルの結合
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「環境設定」Word オプション、情報画面、プロパティ		授業計画	「テーブル」 テーブルの作成、設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	テストに向けての総復習
	授業計画	「参考資料」 脚注の挿入、参考文献の扱い		授業計画	「小テスト」 小テストと解説
	事後学習	操作の復習		事後学習	テストの見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「セキュリティ・保存時の検査」 パスワードの設定、ドキュメント検査			
	事後学習	操作の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書 著者名 FOM 出版
タイトル Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
出版社 FOM 出版

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	計算能力演習 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものです。大企業から中小企業、個人商店にいたるまで簿記を用いています。また簿記の資格は、ビジネス系の資格においては常に人気ナンバーワンとなっています。この講義では商業簿記の基本について問題演習を中心に講義を進めていきます。
達成目標
簿記の基本を理解し、会社における日常取引および決算の基本的な処理についての実践的なスキルの習得を目標とします。また、全経簿記能力検定試験 3 級の合格を目標とします。
学修成果
企業における期中取引の基本仕訳、主要簿、補助簿の記入及び作成、決算手続きなど、簿記の基本処理が可能となります。また全経簿記能力検定 3 級に合格することができます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	ガイダンス 簿記の資格検定試験(全経簿記能力検定、日商簿記検定)		授業計画	全経簿記 3 級第 2 問計算問題対策、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
2	事前学習	前回説明の復習	10	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	貸借対照表・損益計算書の作成問題演習と解説		授業計画	全経簿記 3 級第 3 問伝票問題対策、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
3	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	11	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	簿記上の取引、基本仕訳、仕訳帳についての問題演習と解説		授業計画	全経簿記 3 級第 1 問仕訳問題対策①、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
4	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	12	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	総勘定元帳の勘定口座への転記、試算表の作成についての問題演習と解説		授業計画	全経簿記 3 級第 1 問仕訳問題対策②、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
5	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	13	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	商品売買の仕訳演習、仕入帳、売上帳、仕入先元帳、得意先元帳について		授業計画	全経簿記 3 級第 4 問帳簿作成問題対策、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
6	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	14	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	商品有高帳について		授業計画	全経簿記 3 級直前対策総まとめ、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
7	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	現金取引、当座預金取引の仕訳問題演習、現金出納帳、当座預金出納帳		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認のための定期試験の実施
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	定期試験受験後の振り返り
8	事前学習	前回講義のプリントの読み返し		事前学習	
	授業計画	小口現金の仕訳と小口現金出納帳の作成		授業計画	
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% < (課題・小テスト) >：25%

教科書	著者名	TAC 株式会社またはネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	日商簿記 3 級合格テキストまたは全経簿記能力検定試験公式テキスト 3 級
	出版社	TAC 出版またはネットスクール出版
参考書	著者名	TAC 株式会社またはネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	日商簿記 3 級合格トレーニングまたは全経簿記能力検定試験公式問題集 3 級
	出版社	TAC 出版またはネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	計算能力演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要
全経簿記能力検定試験 3 級レベルの商業簿記の復習をしながら、全経簿記能力検定試験 2 級レベルの商業簿記について問題演習を行います。特に複雑な期中取引や、株式や社債の発行、利益処分などの株式会社特有の処理方法、本支店会計についての問題演習を行います。
達成目標
個人企業及び法人企業の経理担当者または経理補助者として必要な商業簿記に関する知識と実務処理能力を有し、かつ全経簿記能力検定 2 級に合格することを目標とします。
学修成果
小規模な株式会社の経理担当者が必要な経理実務処理（期中の仕訳、勘定口座への転記及び主要簿、補助簿の作成、決算手続きの基本処理）が可能となります。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級商品売買、特殊商品売買取引の仕訳問題演習		授業計画	剰余金の配当と損失の処理、欠損てん補の問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
2	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	10	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級手形取引、手形更改、不渡り、為替手形の問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 2 問対策問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
3	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	11	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	荷為替手形の取引、有価証券の評価替えの問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 3 問対策問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
4	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	12	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級有形固定資産、有形固定資産の取得・売却、建設仮勘定の問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 4 問対策問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
5	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	13	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	有形固定資産の期中売却、繰延資産の問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 1 問仕訳問題対策①問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
6	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	14	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級貸倒引当金、貸倒引当金、修繕引当金、商品保証引当金の問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 1 問仕訳問題対策②問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
7	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	社債取引の問題演習		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	定期試験受験後の振り返り
8	事前学習	前回講義のプリントの読み返し			
	授業計画	株式会社の資本構成と株式発行の問題演習			
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題・小テスト）>：25%

教科書 著者名 ネットスクール株式会社 桑原知之
タイトル 全経簿記能力検定試験公式問題集 2 級商業簿記
出版社 ネットスクール出版

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	時事研究 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
日本経済新聞を中心に国内外のニュースの内容把握とそのニュースについての経済的、社会的、政治的背景を考察して行きます。「聴く日経」を活用し、耳からも情報を収集します。その後、新聞紙面から縦書き文章の読解力を伸ばしていきます。そして、自身の知識として積み上げていきます。
達成目標
その時その時に話題になっている経済ニュースが理解できるようになること。就職活動に備えての時事知識及び一般知識を修得すること
学修成果
ニュース検定公式テキスト&問題集を参考書として使用することで、検定問題が解けるようになることで、ニュース検定 4 級の合格が期待できる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	宿題をやる
	授業計画	オリエンテーション 講義のルール説明など		授業計画	新聞記事⑦ 外食関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	復習		事後学習	語彙を調べる
2	事前学習	宿題をやる	10	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事① 新入社員関連記事 1 宿題配布		授業計画	新聞記事⑧ 労働関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
3	事前学習	宿題をやる	11	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事② 新入社員関連記事 2 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑨ 株主総会関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
4	事前学習	宿題をやる	12	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事③ 五月病関連記事 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑩ 消費者関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
5	事前学習	宿題をやる	13	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事④ 物流関連記事 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑪ 海外進出関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
6	事前学習	宿題をやる	14	事前学習	今までのプリントをまとめる
	授業計画	新聞記事⑤ 株主総会関連記事 1 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	総まとめ
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	復習
7	事前学習	宿題をやる	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	新聞記事⑥ 株主総会関連記事 2 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	期末試験
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	0
8	事前学習	宿題をやる			
	授業計画	中間テスト			
	事後学習	復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (課題) >：30%

教科書 著者名
タイトル
出版社

参考書 著者名
タイトル 2023 年度版ニュース検定公式テキスト&問題集 「時事力」基礎編(3・4 級対応)
出版社 毎日新聞出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
本講義は、3 つの分野に分けて進める。①日本企業の特徴について学ぶ②時代に合わせ成長している業界分析について分析を行う③現状（時事）を踏まえ、個別企業について分析・研究していく。③に関しては、グループワークで、プレゼン発表までを担当する
達成目標
学生自身が就職活動を行う際に必要となる「時事分析」に基づいた企業分析ができるようになる。その企業が属している業界についても理解できるようになる。
学修成果
自身が日本で就職活動を行う際に必要な企業分析ができるようになり、就職先として検討できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布の漢字チェック
	授業計画	オリエン・日本企業の特徴（終身雇用・年功制度・企業内組合）		授業計画	流通業界（小売業・ホームセンター）・漢字テスト
	事後学習	ノートの整理		事後学習	テキスト該当箇所を読む
2	事前学習	前回授業のポイントを整理する	10	事前学習	事前配布の漢字チェック
	授業計画	新卒一括採用（日本の就活）・マルチタスク重視		授業計画	流通業界（小売業・外食）・漢字テスト
	事後学習	ノートの整理		事後学習	テキスト該当箇所を読む
3	事前学習	前回授業のポイントを整理する	11	事前学習	興味のある業界をピックアップ
	授業計画	ジョブローテーション・組織内キャリアアップ・集団成果主義		授業計画	個別企業についてどうやって調べるか（企業理念・財務状況など）
	事後学習	ノートの整理		事後学習	候補企業を調べる
4	事前学習	小テスト勉強	12	事前学習	自分が担当する企業を決める
	授業計画	日本企業の特徴について復習・小テスト		授業計画	グループ分け・グループワーク①
	事後学習	ノートの整理		事後学習	特になし
5	事前学習	事前配布の漢字チェック	13	事前学習	担当箇所を調査する
	授業計画	第2部業界研究・ホテル業界①（市場規模・業界概要）		授業計画	グループ分け・グループワーク②
	事後学習	テキスト該当箇所を読む		事後学習	特になし
6	事前学習	漢字テストの練習	14	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	流通業界（小売業・スーパー）・漢字テスト		授業計画	プレゼンテーション
	事後学習	テキスト該当箇所を読む		事後学習	振り返り
7	事前学習	事前配布の漢字チェック	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	流通業界（小売業・コンビニ）・漢字テスト		授業計画	期末試験
	事後学習	テキスト該当箇所を読む		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布の漢字チェック			
	授業計画	流通業界（小売業・家電量販店）・漢字テスト			
	事後学習	テキスト該当箇所を読む			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（ 課題 ）>：30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 東洋経済新聞社
タイトル 会社四季報 業界地図 2024
出版社 東洋経済新聞社